

## 〇〇ファースト

鹿児島県労働委員会労働者委員 岡 良二

最近、「〇〇ファースト」という言葉をよく耳にします。トランプ大統領の「アメリカファースト」に始まり「都民ファースト」「日本人ファースト」「生活者ファースト」などなど、あげればきりがありません。この「〇〇ファースト」は、あまり良いことではないと思います。「自国だけ」「家族だけ」「自分だけ」となり、「相手を思いやること」が置き去りにされていくのではないかと危惧しています。悪いことばかりだけではなく「エコファースト」や「思いやりファースト」などもありますが、「自分ファースト」のほうが優先されているように思います。

みなさんの職場にも潜んでいませんか？ 自己中心的な振る舞いで周囲を振り回し、組織の生産性を著しく低下させる「自分ファースト社員・自分ファースト管理職」！ 彼らの「無責任な行動」「協調性の欠落」「権利ばかりを主張」する姿勢は、周囲のモチベーションを著しく削ぎ、チームワークを崩壊させ、結果として組織全体の生産性低下やコンプライアンス違反のリスク増大につながりかねません。実際に労働委員会が毎月1回開催している「労働相談」でも「自分ファースト社員・自分ファースト管理職」が要因となり相談に来られる事例も多いように感じます。「自分ファースト社員・自分ファースト管理職」の存在は、組織にとって看過できない深刻なリスクであり、周囲の「従業員・管理職」の貴重な時間と精神的エネルギーを無情にも搾取します。彼らの身勝手な行動を放置することは、真面目に働く「従業員・管理職」の「モチベーションを著しく低下」させ「不公平感を蔓延」させ、最悪な場合「優秀な人材」の流出や組織全体の「パフォーマンス低下」という壊滅的な結果を招きかねません。「自分ファースト社員・自分ファースト管理職」の問題は決して他人事ではありません。権力や力を持った指導者や自己中心的な人のおかげで「右往左往」しないとイケない。

日本の良き時代「謙遜・謙虚」の精神はどこに行ってしまったのでしょうか？ 顔の見えない者同士が SNS でのやり取りをする便利な世の中ではありますが、「謙遜・謙虚」の精神を忘れてしまい「〇〇ファースト」を作り上げる要因の一つになっているのではないのでしょうか？